



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年10月30日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL <http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神谷 真二 TEL 0561-52-5300
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,452	4.4	236	17.3	260	8.8	497	220.7
30年3月期第2四半期	6,182	5.4	201	△8.4	239	△7.9	155	△9.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	196.40	—
30年3月期第2四半期	54.60	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	20,591	13,427	65.2
30年3月期	20,581	14,280	69.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 13,427百万円 30年3月期 14,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	70.00	70.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	3.1	500	0.2	560	△2.6	700	88.2	282.44

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

2. 1株当たり当期純利益については、直近の期中平均株式数をベースに補正をしております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	3,088,739株	30年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	676,736株	30年3月期	245,461株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	2,535,298株	30年3月期2Q	2,843,848株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. 参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が続き、緩やかな回復基調を示したものの、米国の保護主義的な通商政策をはじめとする海外経済の不確実性への懸念等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、営業活動の強化、一層の生産性の向上、更なるコスト削減の徹底等に注力してまいりました結果、売上高は64億5千2百万円と前年同期比4.4%の増加、営業利益は2億3千6百万円と前年同期比17.3%の増加、経常利益は2億6千万円と前年同期比8.8%の増加となりました。四半期純利益につきましては、保有する投資有価証券の一部を売却したことにより特別利益を計上したため、4億9千7百万円と前年同期比220.7%の増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、36億6千1百万円と前年同期比11.9%の増加となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、酸素センサー用部品等の自動車関連部品を中心に増加したことから、23億1千4百万円と前年同期比13.0%の増加となりました。「小口径銃弾」は、13億4千7百万円と前年同期比10.1%の増加となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、27億9千万円と前年同期比4.1%の減少となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、主にリチウムイオン電池缶製造用プレスの中国向けが増加したことから、16億1千8百万円と前年同期比35.4%の増加となりました。「ばね機械」は、受注が堅調に推移し、3億9千8百万円と前年同期比2.7%の増加となりました。「航空機部品」は、ボーイングの大型機種の新規受注の減少の影響を受け、2億9千1百万円と前年同期比22.4%の減少となりました。「自動機・専用機」は、主要構成部品の不足が長期化している影響を受け、2億8千1百万円と前年同期比69.3%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は前期末より9百万円増加し、205億9千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が10億4千5百万円及び受取手形及び売掛金が3億7千4百万円それぞれ減少したものの、有形固定資産が7億9千9百万円及びたな卸資産が7億3千7百万円それぞれ増加したことによるものです。負債につきましては、8億6千2百万円増加し、71億6千4百万円となりました。これは主に、電子記録債務が3億2千7百万円増加したことによるものです。純資産につきましては、8億5千3百万円減少し、134億2千7百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により10億8千万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は40億1百万円となり、前期末より5億4千5百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は6千8百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加で7億3千7百万円及び投資有価証券売却益の計上で4億4千9百万円減少したものの、税引前四半期純利益で7億1千9百万円、売上債権で3億6千2百万円の減少及び減価償却費で3億4千8百万円それぞれ計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は6億7千1百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で3億6千万円支出したものの、投資有価証券の売却で5億3千9百万円及び定期預金の払戻により5億円それぞれ収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は12億8千5百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により10億8千万円及び配当金で1億9千8百万円支出したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年4月26日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日平成30年10月30日に公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,046,500	4,001,032
受取手形及び売掛金	2,621,222	2,246,535
電子記録債権	1,057,628	1,069,482
製品	149,591	390,968
仕掛品	2,209,764	2,631,840
原材料及び貯蔵品	557,824	631,770
その他	65,710	121,334
貸倒引当金	△6,400	△5,200
流動資産合計	11,701,843	11,087,764
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,900,019	2,238,046
機械及び装置(純額)	1,519,539	1,864,960
その他(純額)	1,104,797	1,220,409
有形固定資産合計	4,524,356	5,323,415
無形固定資産	102,104	103,668
投資その他の資産		
投資有価証券	4,126,572	3,939,953
その他	127,712	137,135
貸倒引当金	△591	△298
投資その他の資産合計	4,253,692	4,076,789
固定資産合計	8,880,153	9,503,873
資産合計	20,581,996	20,591,638

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	953,504	965,849
電子記録債務	1,683,947	2,011,123
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	193,052	251,622
賞与引当金	315,146	223,518
役員賞与引当金	21,967	-
その他	815,513	1,427,994
流動負債合計	4,883,130	5,780,107
固定負債		
退職給付引当金	728,494	732,240
その他	689,847	651,946
固定負債合計	1,418,342	1,384,186
負債合計	6,301,472	7,164,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	4,661,209	4,960,105
自己株式	△346,258	△1,427,020
株主資本合計	11,958,570	11,176,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,321,953	2,253,743
繰延ヘッジ損益	-	△3,103
評価・換算差額等合計	2,321,953	2,250,639
純資産合計	14,280,523	13,427,343
負債純資産合計	20,581,996	20,591,638

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,182,888	6,452,179
売上原価	5,257,879	5,432,167
売上総利益	925,008	1,020,011
販売費及び一般管理費	723,665	783,806
営業利益	201,342	236,205
営業外収益		
受取利息	424	308
受取配当金	25,422	31,316
固定資産賃貸料	21,732	16,619
その他	4,371	2,889
営業外収益合計	51,950	51,133
営業外費用		
支払利息	2,391	2,486
為替差損	-	12,644
固定資産賃貸費用	11,398	6,978
その他	295	5,028
営業外費用合計	14,085	27,137
経常利益	239,207	260,200
特別利益		
投資有価証券売却益	-	449,987
固定資産売却益	-	9,777
特別利益合計	-	459,765
税引前四半期純利益	239,207	719,965
法人税等	83,930	222,040
四半期純利益	155,277	497,925

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	239,207	719,965
減価償却費	351,161	348,469
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,993	△1,493
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,753	△91,628
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,249	3,745
受取利息及び受取配当金	△25,846	△31,624
支払利息	2,391	2,486
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△449,987
売上債権の増減額(△は増加)	496,353	362,833
たな卸資産の増減額(△は増加)	△745,775	△737,398
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,554	207,235
その他	93,910	△134,411
小計	385,353	198,192
利息及び配当金の受取額	25,966	31,744
利息の支払額	△2,378	△2,095
法人税等の支払額	△148,903	△159,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,037	68,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△434,726	△360,904
有形固定資産の売却による収入	88	16,830
無形固定資産の取得による支出	△12,584	△21,912
投資有価証券の取得による支出	△3,403	△1,924
投資有価証券の売却による収入	-	539,922
その他	△114	△358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350,739	671,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△246	△1,080,762
配当金の支払額	△169,960	△198,435
その他	△6,061	△6,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,268	△1,285,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	128	72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△266,843	△545,468
現金及び現金同等物の期首残高	4,202,379	4,546,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,935,536	4,001,032

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、自己株式は第1四半期累計期間に10億8千万円増加し、当第2四半期会計期間末において14億2千7百万円となりました。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 参考資料

平成30年10月30日

平成31年3月期 第2四半期決算関係参考資料

旭精機工業株式会社

1. 第2四半期累計の業績について

(1) 第2四半期累計の実績推移

単位：百万円

	平成31年3月期 (第2四半期)	平成30年3月期 (第2四半期)	平成29年3月期 (第2四半期)	平成28年3月期 (第2四半期)	平成27年3月期 (第2四半期)
売上高	6,452(4.4%)	6,182	5,865	5,367	5,689
営業利益	236(17.3%)	201	219	103	295
経常利益	260(8.8%)	239	259	138	324
四半期純利益	497(220.7%)	155	171	91	207

※()内対前年同期増減比

(2) 第2四半期累計のセグメント別売上高の推移

単位：百万円

	平成31年3月期 (第2四半期)	平成30年3月期 (第2四半期)	平成29年3月期 (第2四半期)	平成28年3月期 (第2四半期)	平成27年3月期 (第2四半期)
精密加工事業部 精密金属加工品	2,314(13.0%)	2,048	1,837	1,854	1,786
小口径銃弾	1,347(10.1%)	1,224	1,440	1,674	1,811
小計	3,661(11.9%)	3,272	3,277	3,529	3,598
機械事業部 プレス機械	1,618(35.4%)	1,194	734	558	671
ばね機械	398(2.7%)	387	328	359	365
自動機・専用機	281(▲69.3%)	917	922	393	530
航空機部品	291(▲22.4%)	375	557	460	480
その他	201(481.5%)	34	45	66	42
小計	2,790(▲4.1%)	2,910	2,588	1,838	2,091
合計	6,452(4.4%)	6,182	5,865	5,367	5,689

※()内対前年同期増減比

2. 通期の業績について

(1) 通期の実績推移及び業績予想

単位：百万円

	平成31年3月期 (予想)	平成30年3月期 (実績)	平成29年3月期 (実績)	平成28年3月期 (実績)	平成27年3月期 (実績)
売上高	14,200(3.1%)	13,768	13,208	12,200	12,715
営業利益	500(0.2%)	499	401	475	596
経常利益	560(▲2.6%)	575	474	538	648
当期純利益	700(88.2%)	372	292	350	409
1株当たり 当期純利益	282円44銭	130円82銭	102円87銭	123円29銭	144円10銭

※()内対前期増減比

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成27年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 通期のセグメント別売上高の推移及び予想

単位：百万円

	平成31年3月期 (予想)	平成30年3月期 (実績)	平成29年3月期 (実績)	平成28年3月期 (実績)	平成27年3月期 (実績)
精密加工事業部 精密金属加工品	4,400(3.6%)	4,247	3,727	3,701	3,643
小口径銃弾	3,050(5.6%)	2,887	3,475	3,781	4,116
小計	7,450(4.4%)	7,135	7,202	7,483	7,760
機械事業部 プレス機械	3,950(16.9%)	3,380	2,292	1,606	1,782
ばね機械	1,000(3.6%)	965	800	784	712
自動機・専用機	950(▲34.8%)	1,458	1,788	1,249	1,384
航空機部品	650(▲16.2%)	776	1,061	967	980
その他	200(-%)	51	63	108	95
小計	6,750(1.8%)	6,633	6,005	4,716	4,955
合計	14,200(3.1%)	13,768	13,208	12,200	12,715

※()内対前期増減比

3. 財政状態の推移

単位：百万円

	平成30年 9月30日現在	平成30年 3月31日現在	平成29年 3月31日現在	平成28年 3月31日現在	平成27年 3月31日現在
総資産	20,591	20,581	19,754	18,853	18,661
純資産	13,427	14,280	13,607	13,112	13,000
自己資本 比率	65.2%	69.4%	68.9%	69.5%	69.7%
1株当たり 純資産	5,666円89銭	5,022円56銭	4,784円63銭	4,610円15銭	4,569円87銭

- (注) 1. 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成27年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。
2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、前事業年度以前に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用して算定しております。

4. 設備投資額・減価償却費

単位：百万円

	平成31年3月期通期(予想)※	平成30年3月期通期(実績)
設備投資額	1,490	655
減価償却費	780	723

※平成30年10月30日現在の予想に基づいています。

以上